

専門ゼミ A		演習	准教授 山口 重信
科目カテゴリ	スポーツマネジメントコースの必修科目、スポーツトレーナーコースの必修科目	科目ナンバリング	11130301

1. テーマ

スポーツ競技者の対象やニーズに対応できる基本的な知識と指導法を身につけ実際のスポーツ指導の活動にいかす。

2. ゼミのねらい・概要

スポーツは個人及び集団においてもプレーする選手がそれぞれの目的に向かって内面からでる「やる気」を持ち自発的に行うことが望ましいと考えます。指導者はプレーする選手をサポートし目的の実現に向けて自立した選手を育てていく役割がある。

本ゼミでは基礎知識・指導法・指導計画・指導の実践などを学習するとともにグループでの発表やディスカッションを取り入れ活動していく。また身につけた基本的な知識・技能を4年次の卒業研究へつなげる役割を果たす。

3. ゼミ計画

1. 前期ガイダンス	9. 学生による指導計画の実施① (2 グループ実践)
2. 基礎知識① 心構え 役割	10. 学生による指導計画の実施② (2 グループ実践)
3. 基礎知識② コミュニケーションスキル	11. 学生による指導計画の実施③ (2 グループ実践)
4. 基礎知識③ 育成プログラム理念	12. 学生による指導計画の実施④ (2 グループ実践)
5. 基礎知識④ コーチング法の実際	13. 学生による指導計画の実施⑤ (2 グループ実践)
6. 基礎知識⑤ コーチングスキル	14. 学生による指導計画の実施⑥ (2 グループ実践)
7. 基礎知識⑥ 指導計画1. 重要性・種類	15. 前期のまとめ
8. 基礎知識⑦ 指導計画2. 指導計画案の作成	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

ゼミで取り組んだ内容を復習し、理解して自分の言葉で表現できるようにしておく。なお事前課題があれば予習をしておくこと。これらの学修には、1時間程度が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

ゼミ内での発表や実践などは個別に講評を伝える。また提出物などに関しても確認しコメントする。

6. ゼミにおける学修の到達目標

スポーツ指導者の基礎知識や指導の方法・スキルを理解するとともに、指導の現場で活かせるようにする。

7. 成績評価の方法・基準

受講態度（参加状況・取り組み姿勢を含む）（50%）、提出物や発表（50%）を総合的に評価する。

8. テキスト・参考文献

特になし。状況に応じて資料などは配布する。

9. 受講上の留意事項

ゼミ内の雰囲気を悪くするような態度や発言は厳禁です。

コミュニケーションスキル・アクションなどの向上を意識しながら活動ができる学生が望ましい。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリ」欄の記載のとおり。